



Tricefy THE ULTRASOUND CLOUD

いつでもどこでも簡単に！
ワンクリックで各種デバイスへ画像を送信

クラウドを使った新しい超音波画像の共有と保存方法の提案

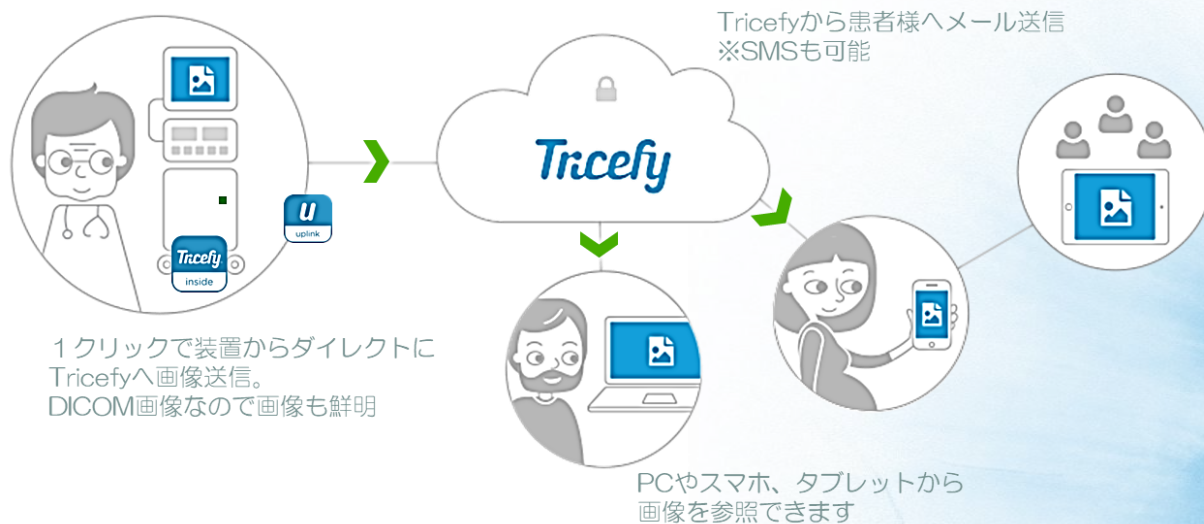
現在の検査画像管理における課題は、ストレージ容量の問題や保存先の分散、データ損失のリスクなど、多岐に渡っており、業務効率化とコストの最適化が必要です。

このような課題に対して、クラウドを利用した、簡単で安全な、そして新しい検査画像の共有と保存の方法を実現するのが「Tricefy」です。

Share

患者へ画像データを共有

エコー装置のボタン設定をすることで、ワンクリックで患者様へ画像や動画を送信できます。また、Tricefyのホームページ上から画像や動画を選択して送信することも可能です。患者様は、SMSやメールに届いたURLリンクをクリックすることでデータを確認・保存でき、SNSを通じて家族や友人と共有することができます。



Archive

クラウドで安全に画像を保管

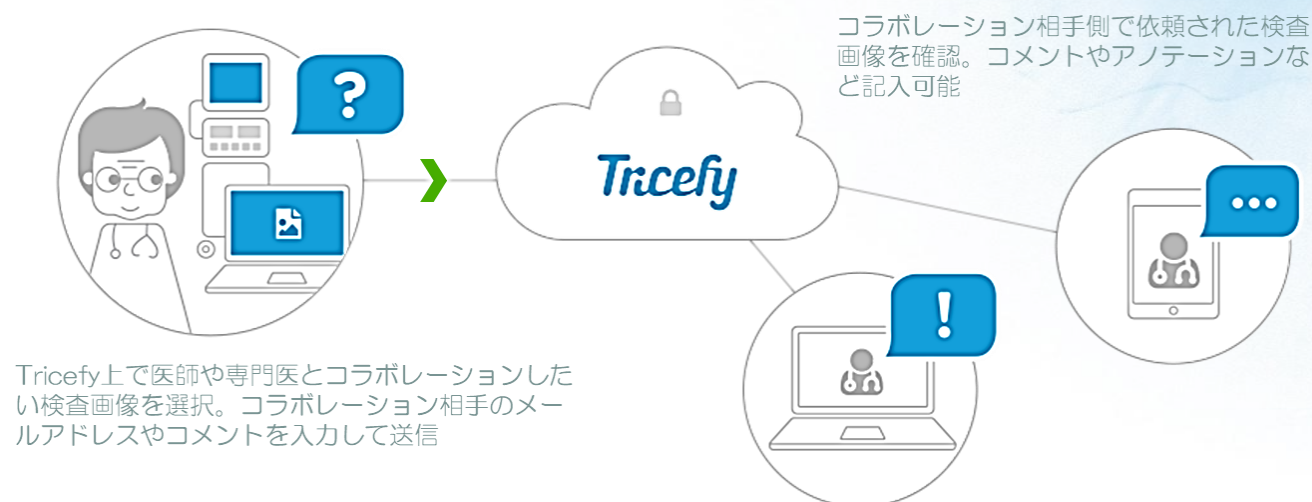
クラウド利用のためストレージの空き容量を気にすることなく、画像を保管・参照できます。です。クラウド上の検査画像は様々なデバイスから参照ができ、電子カルテとの連携も可能です。クラウドはAWSの日本国内にあるデータセンターを利用しています。Tricefyとエコー装置間の通信は専用線を使用しており、セキュリティ面でも安全です。



Collaborate

遠隔地の医師による診断支援

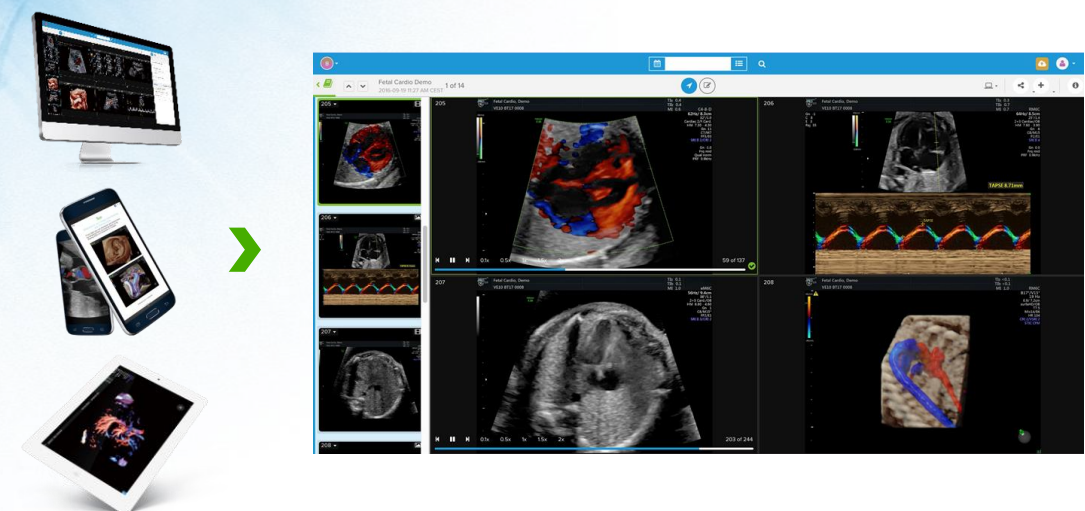
インターネットに接続するだけで、特別な設備を必要とすることなく利用可能です。画像を選択し、コラボレーションする相手のメールアドレスにURLを送信するだけで、リアルタイムに超音波画像の読影依頼ができます。相手側は、受け取った画像や動画に対しコメントやアノテーションを記入することができます。



Access

端末を選ばない多様なアクセス

PC、タブレット、スマートフォンに対応しており、お手元のデバイスでご利用できます。Webブラウザ上で、様々な機能を簡単に操作できます。



<主な機能>

- ・ 検査リスト
- ・ 画像ビューワ
- ・ アノテーション
- ・ 画像・検査の比較
- ・ 共有
- ・ 診断支援



Tricefy

医用画像クラウドサービス『Tricefy』は、現在43カ国で展開中



Cloud-based

どこからでもアクセス可能なクラウドサービス



Secure & Compliant

データ暗号化や二段階認証により国際基準に準拠した安全なアクセス



Mobile

様々なデバイスに対応
どこにいてもデータ確認可能



Collaborative

選択した画像やレポートを
タイムリーに共有



Efficient

時間とコストを節約

アプリからでもご利用できます。



App Store



Google Play

ご利用方法 下記いずれかの方法によって、どのエコー装置でも Tricefy をご利用いただくことができます。

1 Tricefy 搭載機器で利用する

Tricefy が搭載された機器を使用されている場合は、機能を有効化することで簡単にご利用を開始いただけます。

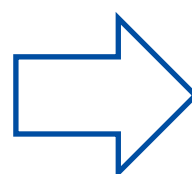
<対応機種>

- GE Healthcare 社製 : Volusonなど
- FUJIFILM SonoSite 社製 : iVizなど

*対応型番・バージョンについては、お問い合わせください。

*上記以外にも対応機種は複数ございます。

非対応機種の
場合は…



2 「Uplink」で利用する

「Uplink」は、PCを経由してTricefyにエコー画像を送信するシステムです。
「Uplink」を使用することで、Tricefy 非搭載機器でもご利用可能です。



※「Uplink」でのご利用にあたり、追加費用は発生しません。

開発元

Trice imaging, Inc.

1343 Stratford Court
Del Mar, CA 92014
USA
<https://triceimaging.com/>

国内代理店

JTP株式会社

〒108-0073
東京都港区三田3丁目13番12号 三田MTビル4階
TEL : 03-6772-8088
Mail : tricefy_support@jtp.co.jp

お問い合わせは、JTP株式会社までお願いいたします。